令和6年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の 諸課題に関する調査結果について

本調査は、文部科学省が生徒指導上の諸課題の現状を把握することにより、今後の施策の推進に資するものです。

毎年度、暴力行為、いじめ、長期欠席の状況等について、北九州市は文部科学省から委託を受け調査を行っています。前年度の全国の調査結果を文部科学省が集約・精査後、毎年10月頃公表しています。

文部科学省より、「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における北九州市の結果が公表されましたので、お知らせいたします。

それぞれの項目の校種は、文部科学省による調査の公表校種と同様としています。

- 1 調査対象 市立の全小学校(127校、43,306人 ※休校1校は未実施)
 - 市立の全中学校(63校、22,059人) 特別支援学校(8校、1,333人) 高等学校(1校、584人)
- 2 調査内容 ① 暴力行為 ②いじめ ③長期欠席 等
- 3 調査対象期間 令和6年度間

主な結果

1 暴力行為の発生状況について [小・中・高]

区分	小・中・高の合計						
运 力	4 年度	5年度	6年度				
対教師暴力	5 4 件	4 3 件	5 4 件				
生徒間暴力	124件	119件	130件				
対人暴力	1件	0件	0件				
器物破損	4 1 件	3 0 件	15件				
計	220件	192件	199件				

1,000人当たりの暴力行為の発生件数(全国との比較)

区分	小・中・高の合計					
	4 年度	5 年度	6 年度			
北九州市	3.2件	2.9件	3.0件			
全国	7.5件	8.7件	10.4件			

- 暴力行為の発生件数は、前年度比で、7件増の199件となっている。
- 〇 児童生徒 1,000人当たりの発生件数では、前年度比で 0.1件増の 3.0件となっている。全国との比較では、7.4件少ない。

2 いじめの認知状況について [小・中・高・特]

区分	小・中・高・特の合計						
	4 年度	5年度	6 年度				
認知件数	1,939件	892件	1,199件				
解消率	9 4 . 7 %	8 1.1%	8 4 . 7 %				
解消率(全国)	7 7.1%	7 7.5%	7 6.1%				

1,000人当たりのいじめ認知件数(全国との比較)

区分	小・中・高・特の合計					
	4 年度	5年度	6年度			
北九州市	28.0件	13.1件	17.8件			
全国	5 3.3件	5 7.9件	6 1.3件			

主な結果

- ※ いじめ重大事態発生件数4件(本市独自調査)
- ※(注意)「重大事態」とは、いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号に規定する「いじめにより当該学校に在籍する 児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」及び同第2号に規定する「いじめにより、 当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」
- ※ 解消率 「3月までのいじめの解消数÷いじめの認知件数」で計算
- ※ 解消の定義:次の2つが満たされていること(文科省より)
 - ① 少なくとも3カ月は、いじめにかかわる行為がやんでいること。
 - ② 被害児童生徒が、心身の苦痛を感じていないこと。
 - いじめの認知件数は、前年度比で、307件増の1,199件となっている。
 - いじめの解消率は、前年度比で、3.6ポイント増の84.7%となっている。全国との 比較では、8.6ポイント高い。
 - 児童生徒1,000人当たりのいじめ認知件数は、前年度比で、4.7件増の17.8件、 全国との比較では、43.5件少ない。

3 長期欠席の状況について [小・中]

区分 4年		小学校			中学校			合計		
		4 年度	5 年度	6年度	4 年度	5年度	6年度	4 年度	5年度	6年度
	病気	308人	966人	867人	526人	791人	587人	834人	1,757人	1,454人
長期欠席	経済的理由	0人	人0	0人	0人	0人	0人	0人	0人	人0
	不登校	610人	808人	993人	1,336人	1,562人	1,670人	1,946人	2,370人	2,663人
	その他	665人	275人	330人	326人	65人	79人	991人	340人	409人
	新型コロナウイルス の感染回避	248人	_	_	109人	_	_	357人	_	_
	計	1,831人	2,049人	2.190人	2,297人	2,418人	2,336人	4,128人	4,467人	4,526人

[※] 長期欠席は、令和4年度は「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」及び「出席停止・忌引き等の日数」の合計、 令和5年度からは「欠席日数」の合計により、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒数を理由別に調査したもの。

1,000人当たりの不登校児童生徒数(全国との比較)

区分	小学校			中学校			合計		
	4 年度	5年度	6年度	4 年度	5年度	6年度	4 年度	5年度	6年度
北九州市	13.5人	18.2人	22.9人	59.7人	70.5人	75.8人	28.8人	35.6人	40.7人
全国	17.0人	21.4人	23.0人	59.8人	67.1人	67.9人	31.7人	37.2人	38.6人

- 長期欠席児童生徒は、小学校は2,190人、中学校は2,336人となっており、合計では 4,526人となっている。
- そのうち、病気を理由とする長期欠席児童生徒数は、小学校は867人、中学校は587人、合計で1,454人となっている。また、経済的理由の長期欠席児童生徒数は、小・中学校ともに0人となっている。また、その他の理由による長期欠席児童生徒数は、小学校は、330人、中学校は79人、合計で409人となっている。
- 不登校児童生徒数は、前年度比で、小学校は185人増の993人、中学校は108人増の 1,670人、合計で293人増の2,663人となっている。
- 児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数では、前年度比で、小学校は4.7人増の 22.9人、中学校は5.3人増の75.8人、合計で5.1人増の40.7人となっている。

【お問い合わせ先】 教育委員会 生徒指導課 辻 (1m093-582-2369)